

## 2-6.主任・主事の役割について

### 2-6-1.主任・主事における連絡調整

アンケートの質問項目を読んで、「1.あてはまる、2.ややあてはまる、3.ややあてはまらない、4.あてはまらない」のうち1つを選んで、回答用紙(別紙)の該当するNoの選択肢番号に をつけてください。

28 私の学校では、各主任・主事が主任・主事としての業務について連絡調整を行っている

管理職・教職員ともに9割程度が、各主任・主事が主任・主事としての業務について連絡調整を行っていると評価。

図表 2-6-1-1 及び 2-6-1-2 は、各主任・主事が主任・主事としての業務について連絡調整を行っているかどうかについての回答結果を示している。

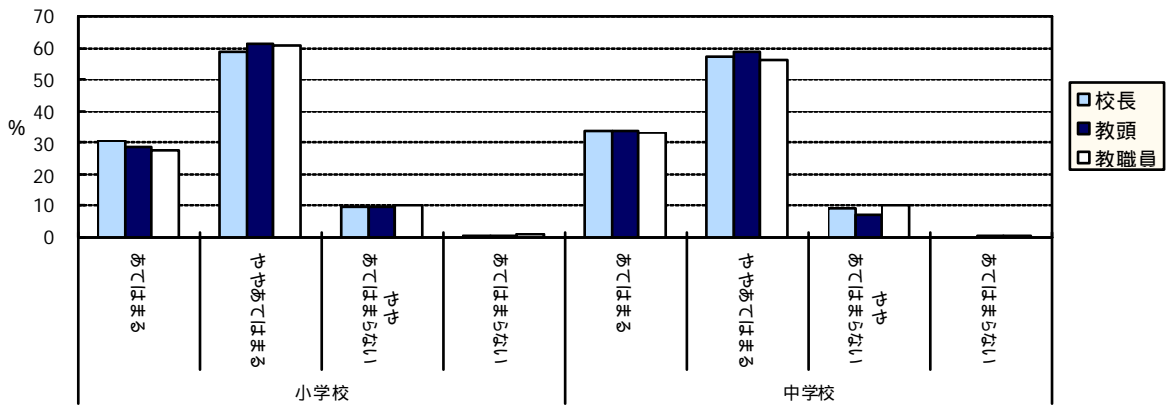
図表 2-6-1-1 は、学校区分別の結果である。全体としては、「行っている」(「あてはまる」「ややあてはまる」とする回答が多数を占める。また、学校区分によらず、管理職・教職員ともに「行っていない」(「ややあてはまらない」「あてはまらない」とする否定的な評価が1割程度見られる。

学校区分ごとに見てみると、小学校の校長については、「あてはまる」(30.5%)と「ややあてはまる」(59.0%)を合わせると、9割弱(89.5%)が行っていると評価している。教頭については、「あてはまる」(28.7%)と「ややあてはまる」(61.2%)を合わせると、9割程度(89.9%)が行っていると評価している。教職員については、「あてはまる」(27.7%)と「ややあてはまる」(60.9%)を合わせると、9割弱(88.6%)が行っていると評価している。校長・教頭・教職員ともに、行っていないとする否定的な回答が1割程度存在する。

中学校については、小学校とほぼ同様な傾向を示している。校長については、「あてはまる」(33.5%)と「ややあてはまる」(57.2%)を合わせると、9割程度(90.7%)が行っていると評価している。教頭については、「あてはまる」(33.5%)と「ややあてはまる」(58.7%)を合わせると、9割強(92.2%)が行っていると評価している。教職員については、「あてはまる」(33.2%)と「ややあてはまる」(56.3%)を合わせると、9割強(89.5%)が行っていると評価している。校長・教頭・教職員ともに、行っていないとする否定的な回答が1割程度存在する。

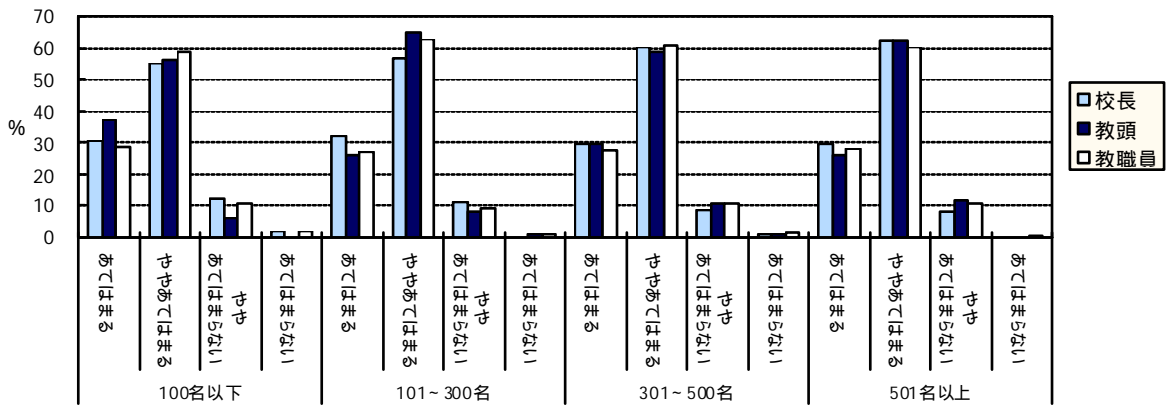
図表 2-6-1-2 は学校規模別の結果である。学校規模の違いによる特徴は見られない。

図表 2-6-1-1. 主任・主事における連絡調整(学校区分別)

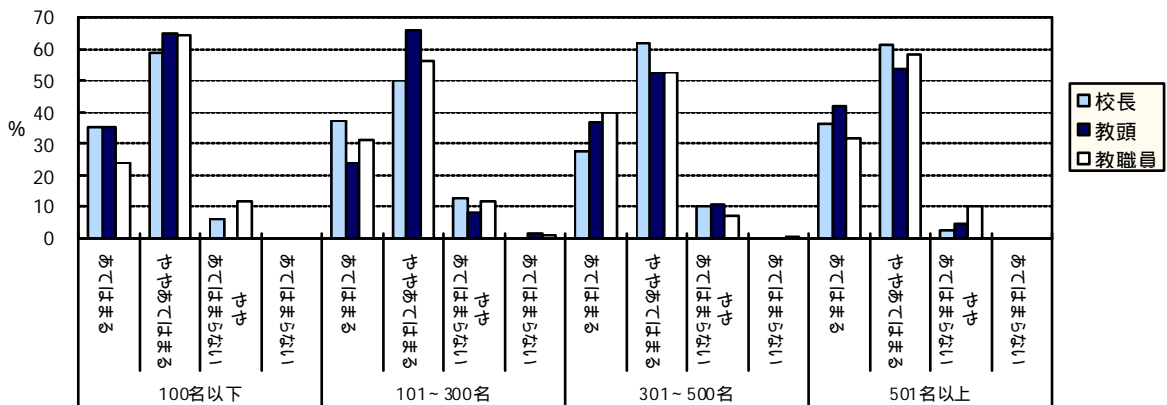


図表 2-6-1-2. 主任・主事における連絡調整(学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



## 2-6-2. 主任・主事による他の教職員への指導助言

アンケートの質問項目を読んで、「1. あてはまる、2. ややあてはまる、3. ややあてはまらない、4. あてはまらない」のうち1つを選んで、回答用紙(別紙)の該当するNoの選択肢番号に をつけてください。

29 私の学校では、各主任・主事が主任・主事としての業務について他の教職員に指導助言している

管理職・教職員ともに8割程度が、各主任・主事が主任・主事としての業務について他の教職員に指導助言していると評価。

中学校において、学校規模が大きくなるにしたがって、肯定的評価が増える傾向。

図表 2-6-2-1 及び 2-6-2-2 は、各主任・主事が主任・主事としての業務について他の教職員に指導助言しているかどうかについての回答結果を示している。

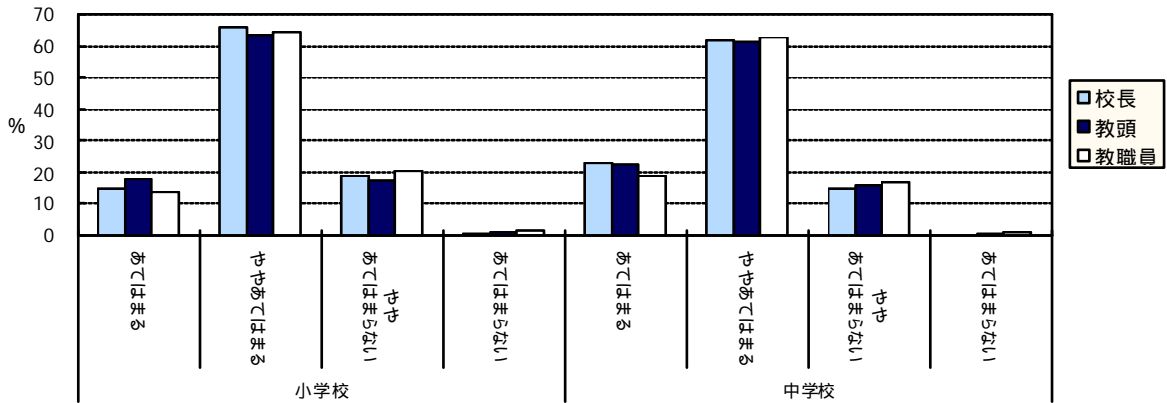
図表 2-6-2-1 は、学校区分別の結果である。全体としては、「行っている」(「あてはまる」「ややあてはまる」とする回答が多数を占める。また、学校区分によらず、管理職・教職員ともに「行っていない」(「ややあてはまらない」「あてはまらない」とする否定的な評価が1割半ば～2割程度見られる。

学校区分ごとに見てみると、小学校の校長については、「あてはまる」(14.7%)と「ややあてはまる」(66.2%)を合わせると、8割程度(80.9%)が行っていると評価している。教頭については、「あてはまる」(17.9%)と「ややあてはまる」(63.6%)を合わせると、8割強(81.5%)が行っていると評価している。教職員については、「あてはまる」(13.9%)と「ややあてはまる」(64.3%)を合わせると、8割弱(78.2%)が行っていると評価している。校長・教頭・教職員ともに、行っていないとする否定的な回答が2割程度存在する。

中学校については、小学校とほぼ同様な傾向を示している。校長については、「あてはまる」(23.1%)と「ややあてはまる」(61.8%)を合わせると、8割半ば(84.9%)が行っていると評価している。教頭については、「あてはまる」(22.3%)と「ややあてはまる」(61.5%)を合わせると、8割強(83.8%)が行っていると評価している。教職員については、「あてはまる」(18.8%)と「ややあてはまる」(63.0%)を合わせると、8割強(81.8%)が行っていると評価している。校長・教頭・教職員ともに、行っていないとする否定的な回答が1割半ば存在する。

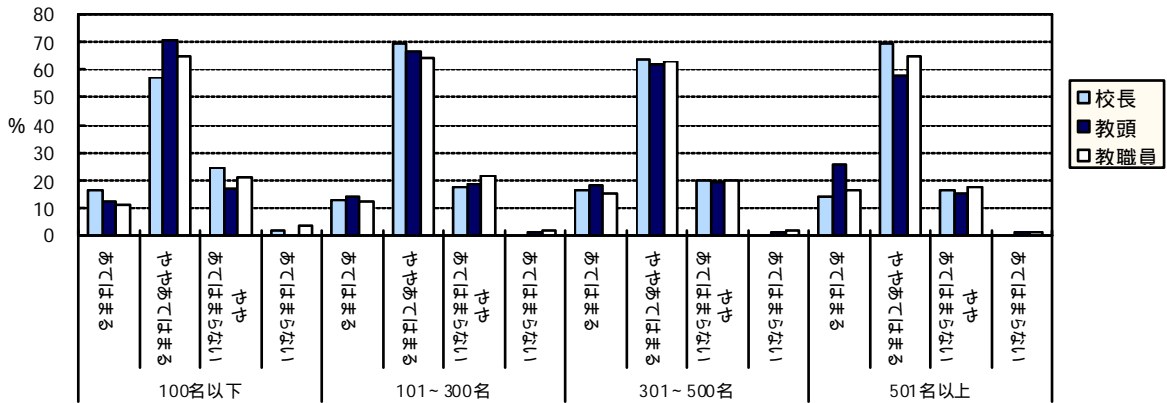
図表 2-6-2-2 は学校規模別の結果である。中学校において、学校規模が大きくなるにしたがって、行っていると肯定的評価が増える傾向が見られる。

図表 2-6-2-1. 主任・主事による他の教職員への指導助言 (学校区分別)

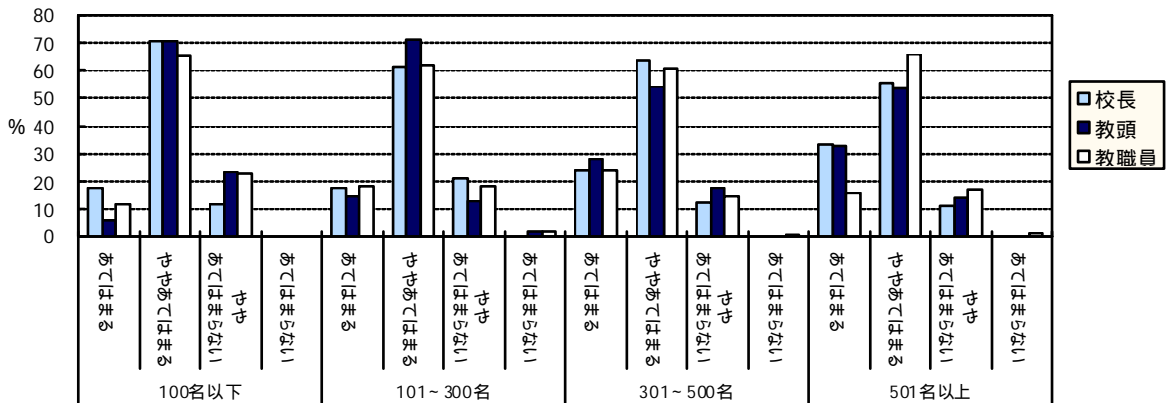


図表 2-6-2-2. 主任・主事による他の教職員への指導助言 (学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



## 2-6-3.主任・主事による管理職の補佐

アンケートの質問項目を読んで、「1.あてはまる、2.ややあてはまる、3.ややあてはまらない、4.あてはまらない」のうち1つを選んで、回答用紙(別紙)の該当するNoの選択肢番号に をつけてください。

30 私の学校では、各主任・主事が私や教頭の補佐をしている

管理職・教職員ともに8~9割程度が、主任・主事が管理職の補佐をしていると評価。

学校規模が大きい場合に、否定的意見について管理職と教職員に認識ギャップが見られる(管理職に比べ教職員の方がより否定的)。

図表2-6-3-1及び2-6-3-2は、各主任・主事が管理職の補佐をしているかどうかについての回答結果を示している。

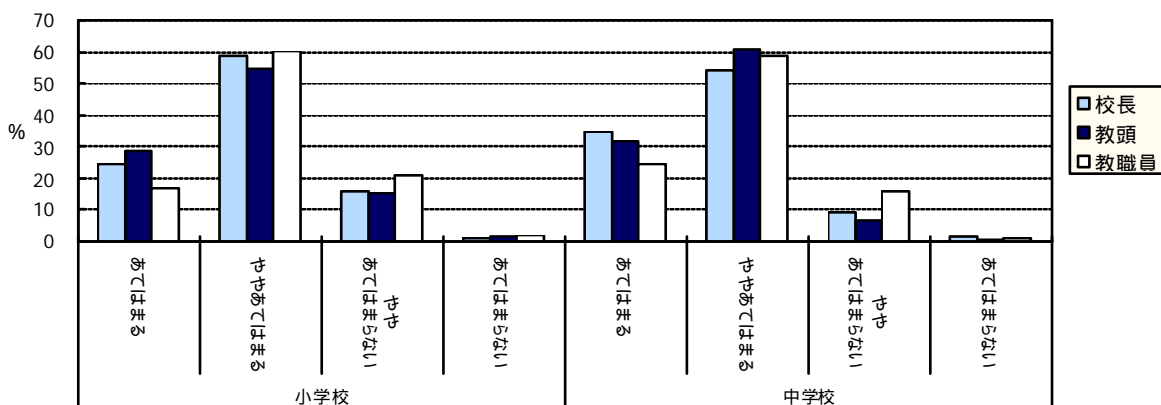
図表2-6-3-1は、学校区分別の結果である。全体としては、「行っている」(「あてはまる」「ややあてはまる」とする回答が多数を占める。中学校より小学校の方が行っていないとする否定的評価が多い。また、管理職に比べて教職員の「行っていない」(「ややあてはまらない」「あてはまらない」とする回答が増える傾向が見られる。

学校区分ごとに見てみると、小学校の校長については、「あてはまる」(24.6%)と「ややあてはまる」(58.6%)を合わせると、8割強(83.2%)が行っていると評価している。教頭については、「あてはまる」(28.7%)と「ややあてはまる」(54.6%)を合わせると、8割強(83.3%)が行っていると評価している。教職員については、「あてはまる」(16.8%)と「ややあてはまる」(60.2%)を合わせると、8割弱(77.0%)が行っていると評価している。行っていないとする否定的な回答は、校長・教頭においては1割半ば、教職員においては2割強存在する。

中学校については、小学校に比べ、全体的に肯定的意見が多い。校長については、「あてはまる」(34.9%)と「ややあてはまる」(54.1%)を合わせると、9割弱(89.0%)が行っていると評価している。教頭については、「あてはまる」(31.8%)と「ややあてはまる」(60.9%)を合わせると、9割強(92.7%)が行っていると評価している。教職員については、「あてはまる」(24.4%)と「ややあてはまる」(58.7%)を合わせると、8割強(83.1%)が行っていると評価している。行っていないとする否定的な回答は、校長では1割強、教頭では1割弱、教職員においては2割弱存在する。

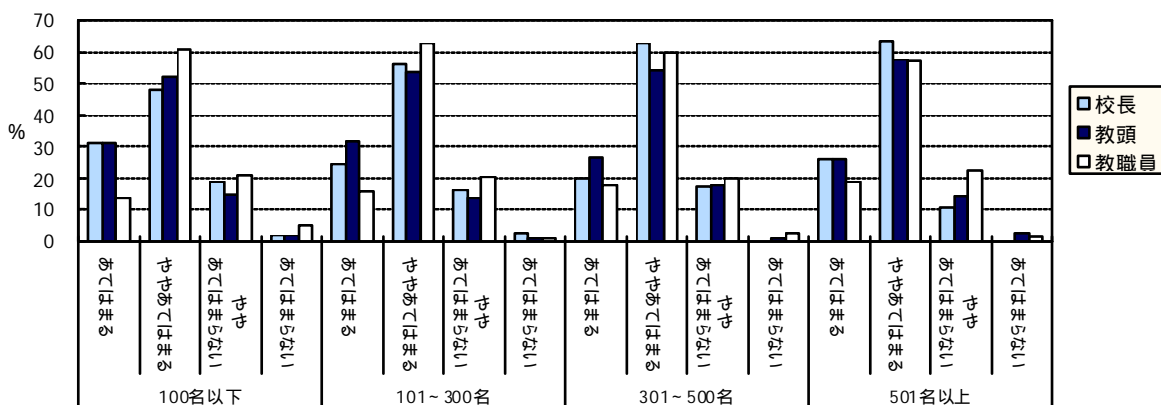
図表2-6-3-2は学校規模別の結果である。特に、小学校においては「501名以上」、中学校においては「301~500名」「501名以上」という学校規模が大きい場合に、管理職に比べ教職員の否定的意見が多い傾向が見られる。

図表 2-6-3-1. 主任・主事による管理職の補佐(学校区分別)

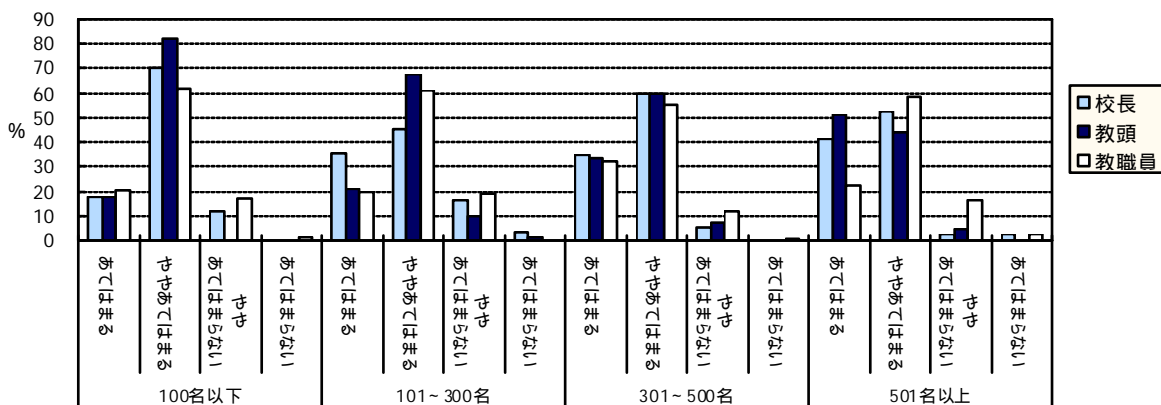


図表 2-6-3-2. 主任・主事による管理職の補佐(学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



## 2-7.出張や会議について

### 2-7-1.出張頻度

【設問4 - 16】 平均して月にどの程度、出張や会議に出かけますか。(1つだけ選ぶ)

最も多い回答は、小学校では校長が「5～6日」、教頭は「3～4日」。中学校では校長が「9～10日」、教頭は「1～2日」。

校長については、小学校よりも中学校の方が出張・会議の頻度が高い。

学校規模が小さくなるにしたがって、管理職の出張・会議に出かける回数が増加する傾向。

図表 2-7-1-1 及び 2-7-1-2 は、管理職による出張や会議についての回答結果を示している。

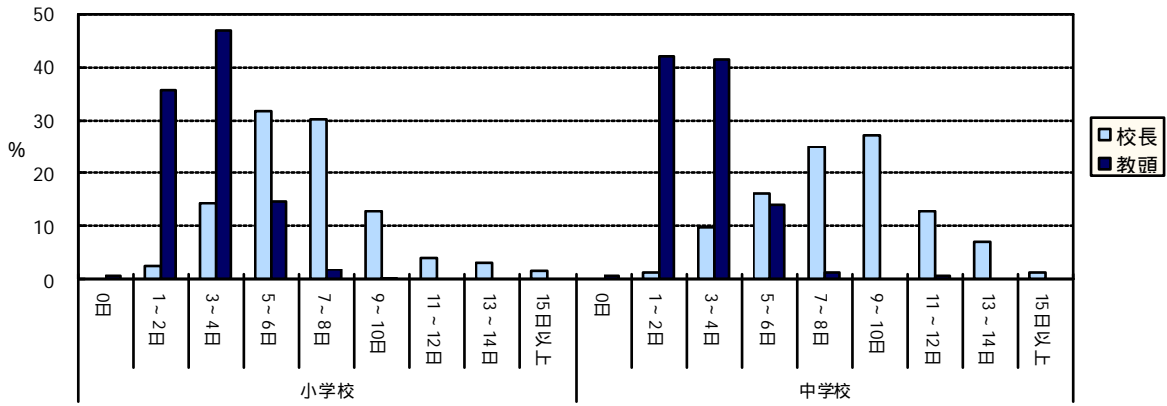
図表 2-7-1-1 は、学校区分別の結果である。全体としては、学校区分によらず、教頭に比べ校長の方が出張や会議に出かける頻度が多い。校長については、小学校よりも中学校の方が頻度が高い。

学校区分ごとに見てみると、小学校の校長については、「5～6日」(31.7%)が3割強と最も多く、続いて「7～8日」(30.2%)が3割となっている。1ヶ月の半分以上、出張や会議に出ているケース(「11～12日」「13～14日」「15日以上」)は、1割弱(8.4%)見られる。教頭については、「3～4日」(46.9%)が4割半ばと最も高く、続いて「1～2日」(35.8%)が3割半ばとなっている。

中学校については、校長の回答は、「9～10日」(27.2%)と「7～8日」(24.9%)が2割半ばとなっている。1ヶ月の半分以上、出張や会議に出ているケース(「11～12日」「13～14日」「15日以上」)は、2割程度(20.8%)見られる。教頭については、「1～2日」(42.1%)と「3～4日」(41.6%)がともに4割強となっている。

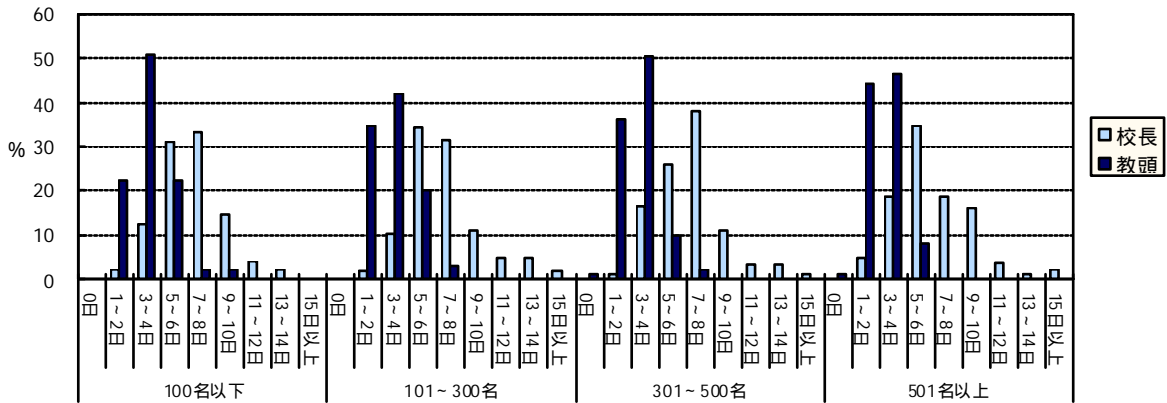
図表 2-7-1-2 は学校規模別の結果である。中学校において、校長・教頭ともに、学校規模が小さくなるほど、出張や会議に出かける回数が増える傾向が見られる。小学校においては、教頭について、上記の傾向が見られる。

図表 2-7-1-1.出張頻度(学校区分別)

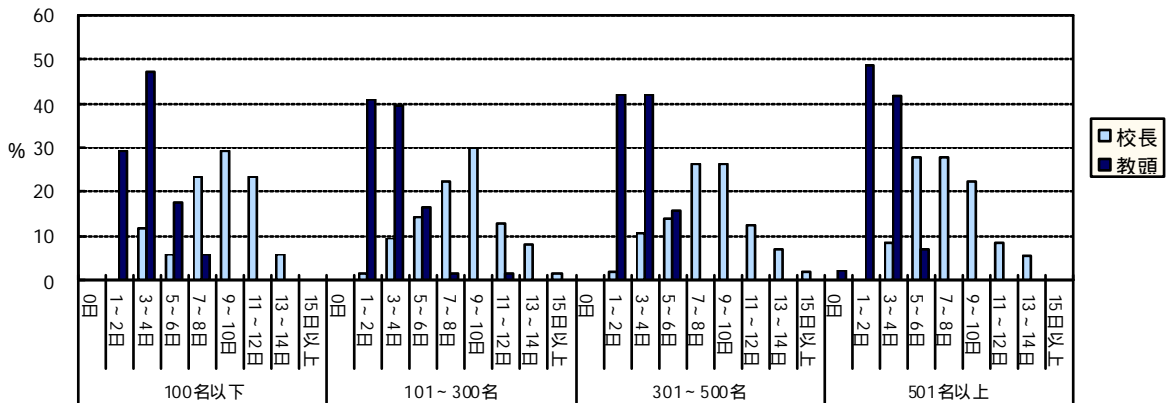


図表 2-7-1-2.出張頻度(学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



## 2-7-2. 校長の出張・会議

各団体が主催する会議や出張の内容についておうかがいします。～ についてお答えください。  
 ただし、「M. 県中学校体育連盟」「N. 郡市中学校体育連盟」については、中学校の校長・教頭のみ  
 お答えください。

A - ア～N - ア(主催団体別の出張・会議の年間回数)は、以下の選択肢から選んでください。(1  
 つだけ選ぶ)

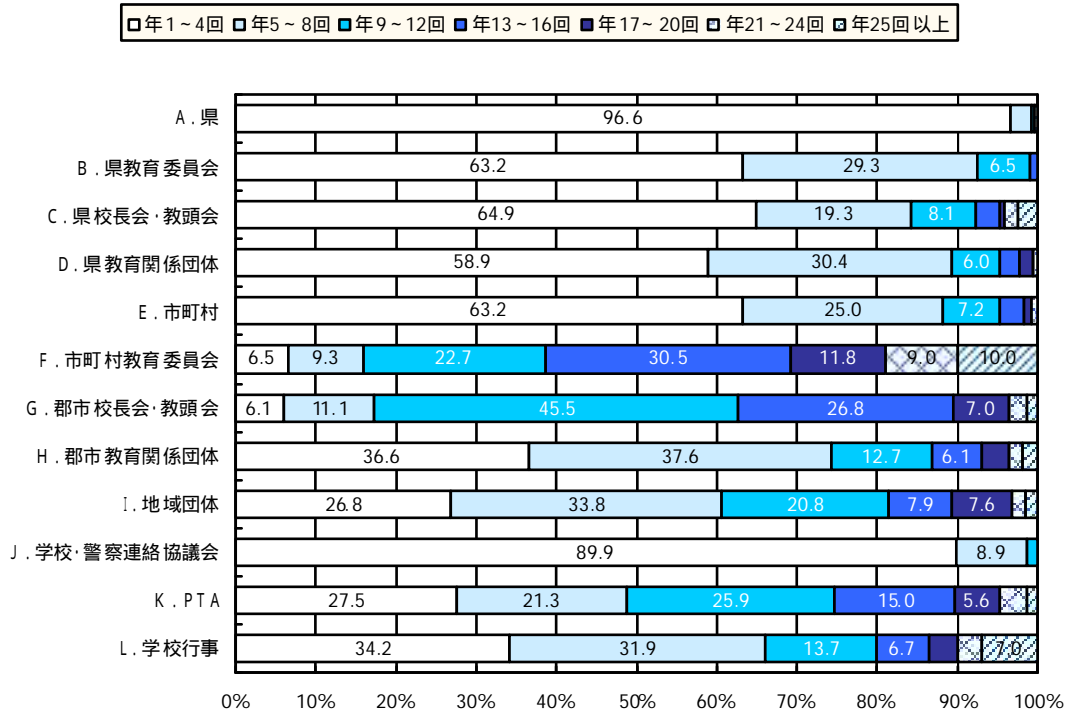
学校区分によらず、頻度の多いものは、「F.市町村教育委員会」「G.郡市校長会・教頭会」。  
 次に多いのが、「H.郡市教育関係団体」「I.地域団体」「K.PTA」「L.学校行事」であり、中学校の場合に「N.郡市中学校体育連盟」が入ってくる。

図表 2-7-2-1 及び 2-7-2-2 は、主催団体別の校長の出張頻度についての回答結果を示している。

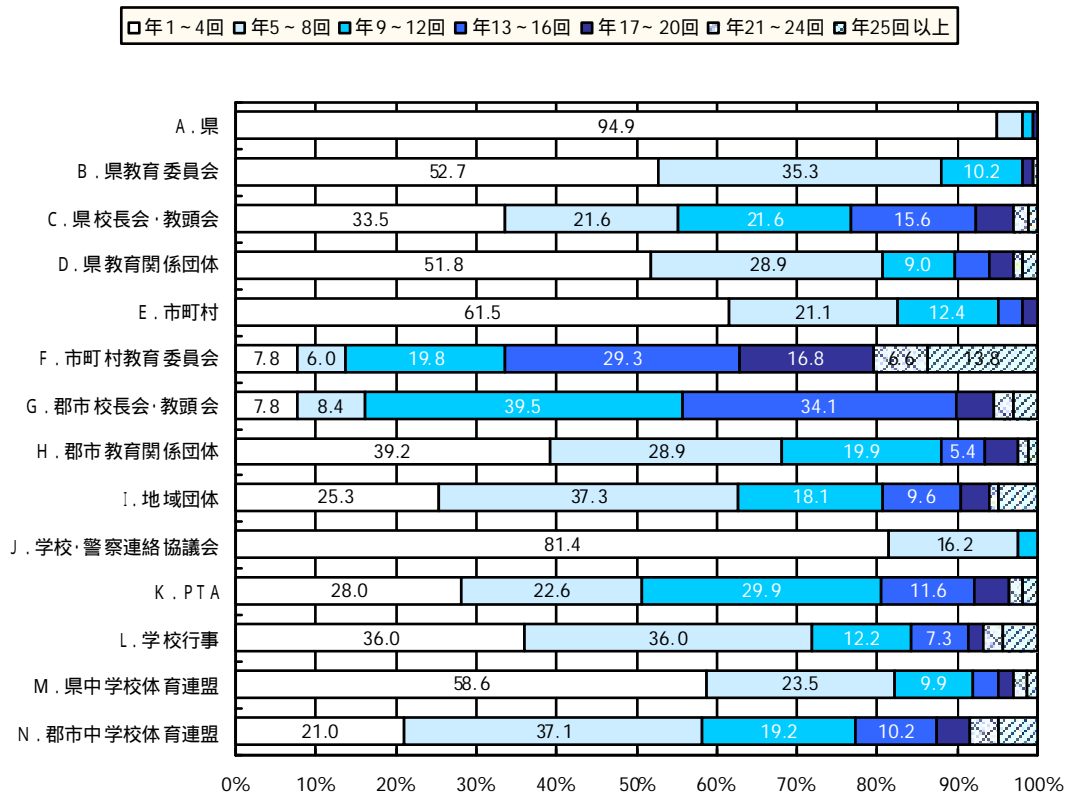
図表 2-7-2-1 は、小学校・校長の結果である。全体的に見て、頻度の最も多いものは、「F.市町村教育委員会」「G.郡市校長会・教頭会」の2つである。「F.市町村教育委員会」について詳しく見ると、「年 13～16 回」(30.5%)が最も多い。「G.郡市校長会・教頭会」については、「年 9～12 回」(45.5%)が最も多い。2 番手グループには「H.郡市教育関係団体」「I.地域団体」「K.PTA」「L.学校行事」があり、3 番手グループには「B.県教育委員会」「C.県校長会・教頭会」「D.県教育関係団体」「E.市町村」がある。「A.県」「J.学校・警察連絡協議会」の2つは頻度が少ない。

図表 2-7-2-2 は、中学校・校長の結果である。全体的に見て、頻度の最も多いものは、「F.市町村教育委員会」「G.郡市校長会・教頭会」の2つであり、小学校と同じである。「F.市町村教育委員会」について詳しく見てみると、「年 13～16 回」(29.3%)が最も多い。「G.郡市校長会・教頭会」については、「年 9～12 回」(39.5%)が最も多い。2 番手グループには「C.県校長会・教頭会」「H.郡市教育関係団体」「I.地域団体」「K.PTA」「L.学校行事」「N.郡市中学校体育連盟」があり、3 番手グループには「B.県教育委員会」「D.県教育関係団体」「E.市町村」「M.県中学校体育連盟」がある。「A.県」「J.学校・警察連絡協議会」の2つは頻度が少ない。「L.学校行事」は自校が主催する学校行事に関する会議・出張のことである。

図表 2-7-2-1.主催団体別頻度(小学校・校長)



図表 2-7-2-2.主催団体別頻度(中学校・校長)



各団体が主催する会議や出張の内容についておうかがいします。～ についてお答えください。  
ただし、「M. 県中学校体育連盟」「N. 郡市中学校体育連盟」については、中学校の校長・教頭のみ  
お答えください。

A - イ～N - イ(主催団体別の出張・会議の重要度)は、以下の選択肢から選んでください。(1つだけ選ぶ)

学校区分によらず、重要度の高いものは、「B. 県教育委員会」「F. 市町村教育委員会」「G. 郡市校長会・教頭会」「L. 学校行事」。

比較的重要度が低いものもあるという結果になったものは、「D. 県教育関係団体」「E. 市町村」「H. 郡市教育関係団体」「I. 地域団体」「K. PTA」。

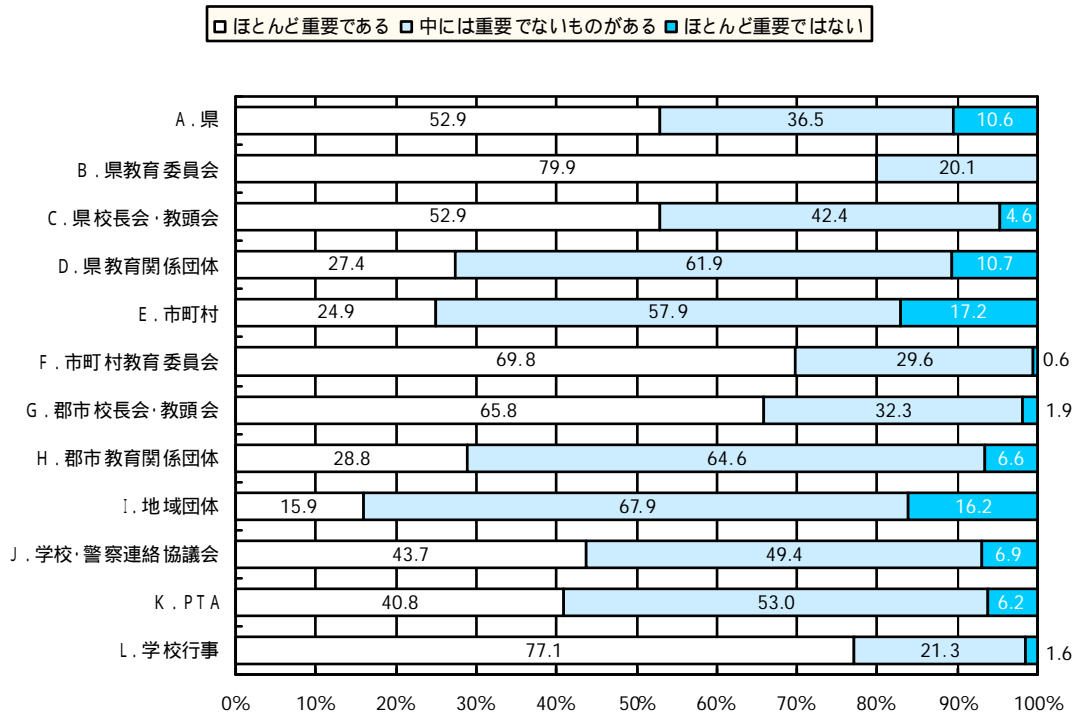
「ほとんど重要ではない」とする回答が1割を超えるものは、「A. 県」「E. 市町村」「I. 地域団体」。

図表 2-7-2-3 及び 2-7-2-4 は、主催団体別の校長が感じる重要度についての回答結果を示している。

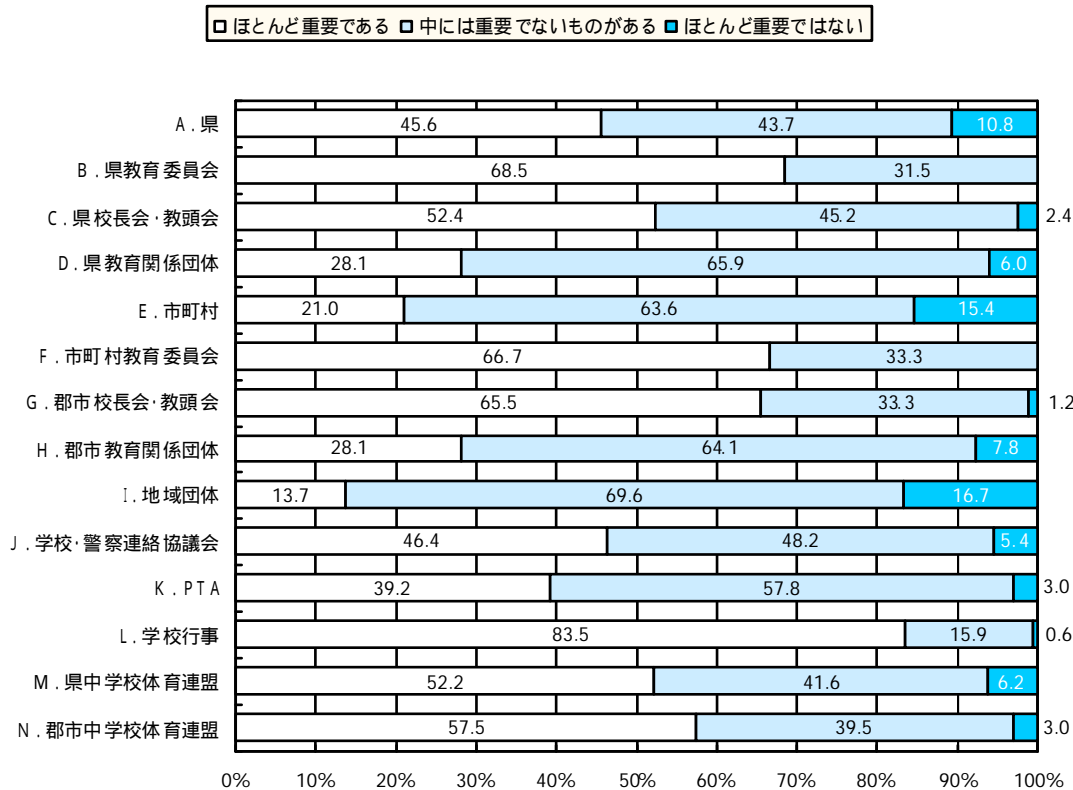
図表 2-7-2-3 は、小学校・校長の結果である。全体的に見て、「ほとんど重要である」とする回答が過半数を占めるものが6つあり、「A. 県」(52.9%)、「B. 県教育委員会」(79.9%)、「C. 県校長会・教頭会」(52.9%)、「F. 市町村教育委員会」(69.8%)、「G. 郡市校長会・教頭会」(65.8%)、「L. 学校行事」(77.1%)となっている。「中には重要でないものもある」が過半数を占めているものが5つあり、「D. 県教育関係団体」(61.9%)、「E. 市町村」(57.9%)、「H. 郡市教育関係団体」(64.6%)、「I. 地域団体」(67.9%)、「K. PTA」(53.0%)となっている。また、「ほとんど重要ではない」が1割を超えているものが4つあり、「A. 県」(10.6%)、「D. 県教育関係団体」(10.7%)、「E. 市町村」(17.2%)、「I. 地域団体」(16.2%)となっている。「J. 学校・警察連絡協議会」については、「ほとんど重要である」(43.7%)と「中には重要でないものもある」(49.4%)が拮抗している。

図表 2-7-2-4 は、中学校・校長の結果である。全体的に見て、「ほとんど重要である」とする回答が過半数を占めるものが7つあり、「B. 県教育委員会」(68.5%)、「C. 県校長会・教頭会」(52.4%)、「F. 市町村教育委員会」(66.7%)、「G. 郡市校長会・教頭会」(65.5%)、「L. 学校行事」(83.5%)、「M. 県中学校体育連盟」(52.2%)、「N. 郡市中学校体育連盟」(57.5%)となっている。「中には重要でないものもある」が過半数を占めているものが5つあり、「D. 県教育関係団体」(65.9%)、「E. 市町村」(63.6%)、「H. 郡市教育関係団体」(64.1%)、「I. 地域団体」(69.6%)、「K. PTA」(57.8%)となっている。また、「ほとんど重要ではない」が1割を超えているものが3つあり、「A. 県」(10.8%)、「E. 市町村」(15.4%)、「I. 地域団体」(16.7%)となっている。「A. 県」「J. 学校・警察連絡協議会」については、「ほとんど重要である」と「中には重要でないものもある」が拮抗している。

図表 2-7-2-3.主催団体別重要度(小学校・校長)



図表 2-7-2-4.主催団体別重要度(中学校・校長)



## 2-7-3. 教頭の出張・会議

各団体が主催する会議や出張の内容についておうかがいします。～ についてお答えください。  
 ただし、「M. 県中学校体育連盟」「N. 郡市中学校体育連盟」については、中学校の校長・教頭のみ  
 お答えください。

A - ア～N - ア(主催団体別の出張・会議の年間回数)は、以下の選択肢から選んでください。(1  
 つだけ選ぶ)

学校区分によらず、頻度の多いものは、「F. 市町村教育委員会」「G. 郡市校長会・教頭会」  
 「K. PTA」。

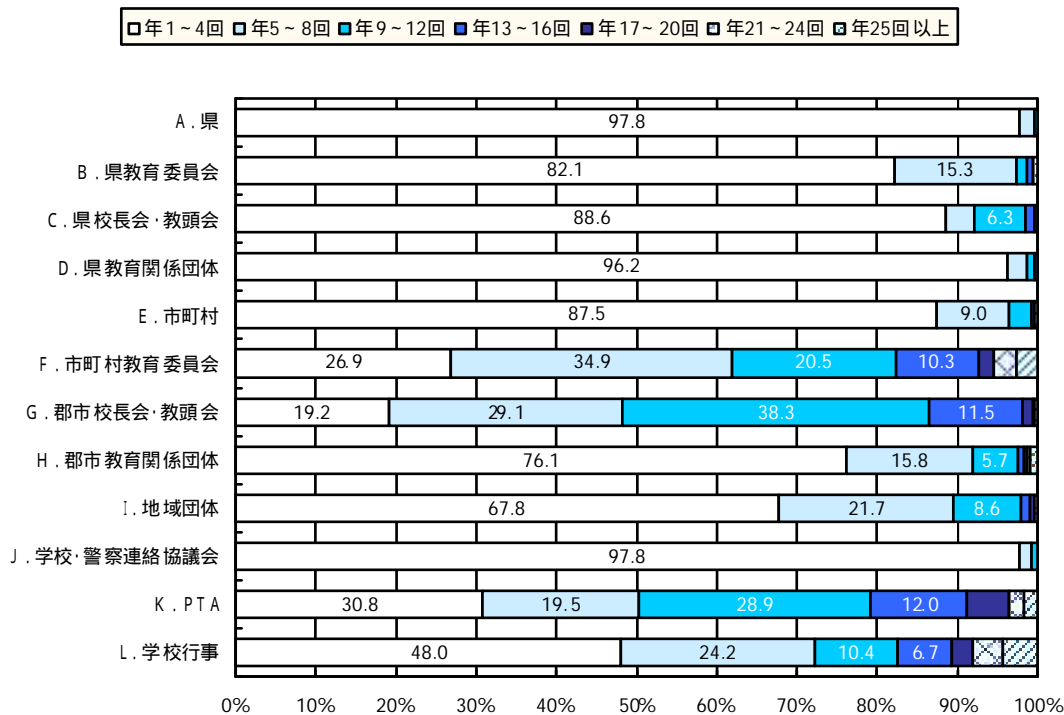
次に多いのが、「H. 郡市教育関係団体」「I. 地域団体」「L. 学校行事」であり、中学校の場合に「N.  
 郡市中学校体育連盟」が入ってくる。

図表 2-7-3-1 及び 2-7-3-2 は、主催団体別の教頭の出張頻度についての回答結果を示してい  
 る。

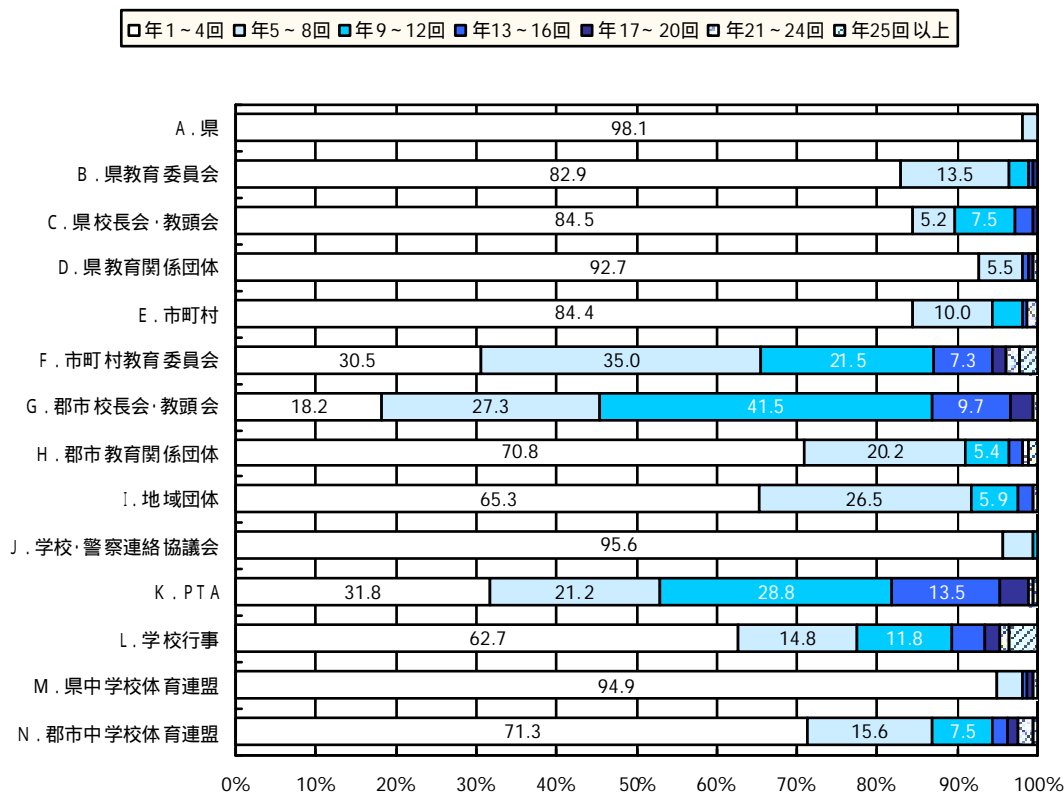
図表 2-7-3-1 は、小学校・教頭の結果である。全体的に見て、頻度の多いものは、「F. 市町村教  
 育委員会」「G. 郡市校長会・教頭会」「K. PTA」「L. 学校行事」の4つである。詳しく見てみると、「F. 市  
 町村教育委員会」は「年5～8回」(34.9%)が最も多く、「G. 郡市校長会・教頭会」は「年9～12回」  
 (38.3%)、「K. PTA」は「年1～4回」(30.8%)、「L. 学校行事」は「年1～4回」(48.0%)が最も多  
 くなっている。2番手グループには「B. 県教育委員会」「C. 県校長会・教頭会」「E. 市町村」「H. 郡市教  
 育関係団体」「I. 地域団体」がある。頻度の少ないものには、「A. 県」「D. 県教育関係団体」「J. 学校・  
 警察連絡協議会」がある。

図表 2-7-3-2 は、中学校・教頭の結果である。全体的に見て、頻度の多いものは、「F. 市町村教  
 育委員会」「G. 郡市校長会・教頭会」「K. PTA」の3つである。詳しく見てみると、「F. 市町村教育委員  
 会」は「年5～8回」(35.0%)が最も多く、「G. 郡市校長会・教頭会」は「年9～12回」(41.5%)、  
 「K. PTA」は「年1～4回」(31.8%)が最も多くなっている。2番手グループには「H. 郡市教育関係団  
 体」「I. 地域団体」「L. 学校行事」「N. 郡市中学校体育連盟」がある。3番手グループには、「B. 県教  
 育委員会」「C. 県校長会・教頭会」「E. 市町村」がある。頻度の少ないものには、「A. 県」「D. 県教  
 育関係団体」「J. 学校・警察連絡協議会」「M. 県中学校体育連盟」がある。

図表 2-7-3-1.主催団体別頻度(小学校・教頭)



図表 2-7-3-2.主催団体別頻度(中学校・教頭)



各団体が主催する会議や出張の内容についておうかがいします。～ についてお答えください。  
ただし、「M. 県中学校体育連盟」「N. 郡市中学校体育連盟」については、中学校の校長・教頭のみ  
お答えください。

A - イ ~ N - イ (主催団体別の出張・会議の重要度) は、以下の選択肢から選んでください。(1つだけ選ぶ)

学校区分によらず、重要度の高いものは、「B. 県教育委員会」「C. 県校長会・教頭会」「F. 市町村教育委員会」「G. 郡市校長会・教頭会」「L. 学校行事」。

比較的重要度が低いものもあるという結果になったものは、「D. 県教育関係団体」「E. 市町村」「H. 郡市教育関係団体」「I. 地域団体」「K. PTA」。

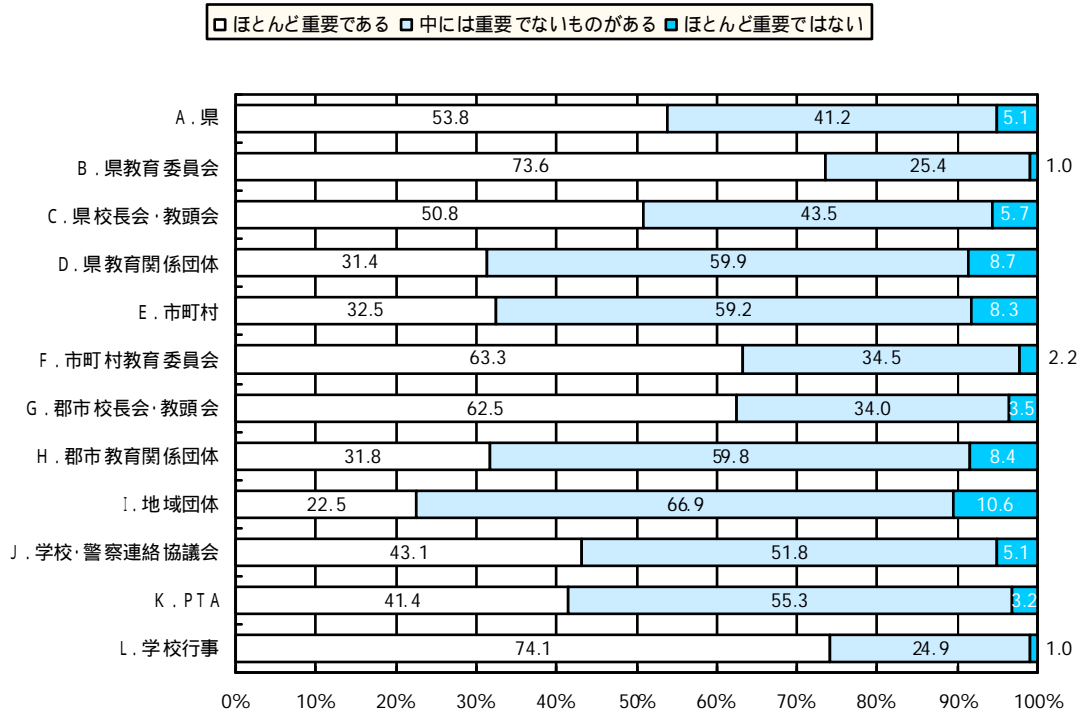
「ほとんど重要ではない」とする回答が1割を超えるものは、小学校の「I. 地域団体」。

図表 2-7-3-3 及び 2-7-3-4 は、主催団体別の教頭が感じる重要度についての回答結果を示している。

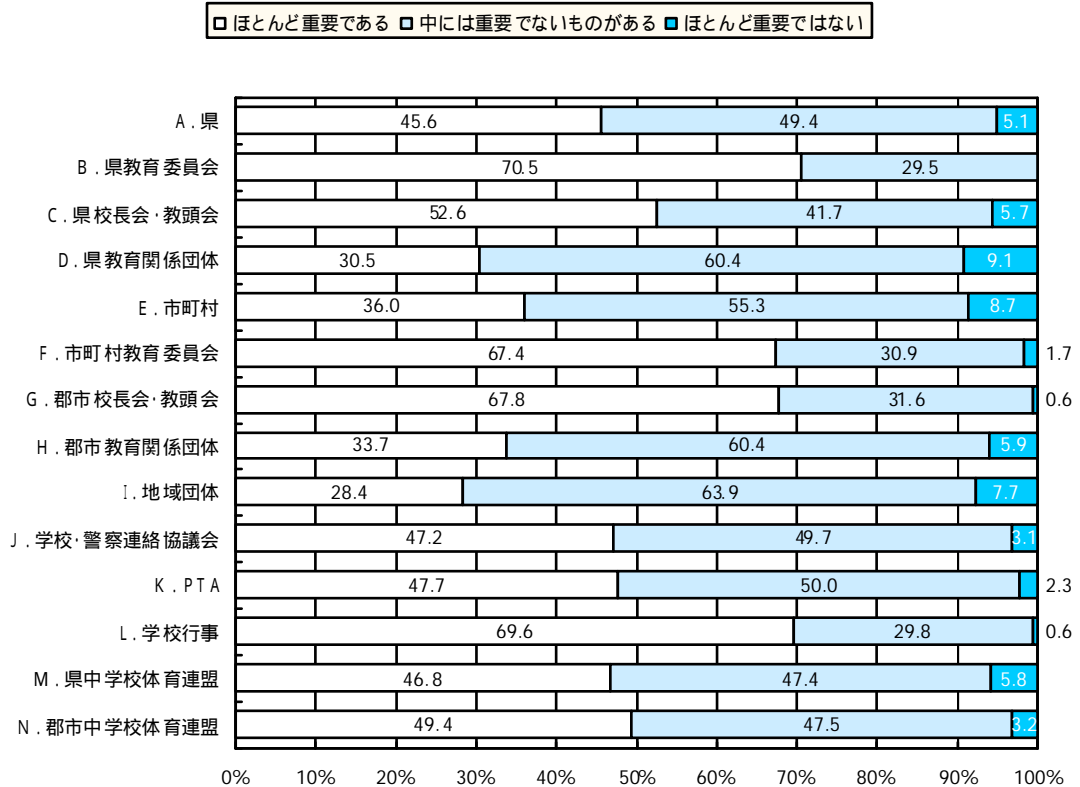
図表 2-7-3-3 は、小学校・教頭の結果である。全体的に見て、「ほとんど重要である」とする回答が過半数を占めるものが6つあり、「A. 県」(53.8%)、「B. 県教育委員会」(73.6%)、「C. 県校長会・教頭会」(50.8%)、「F. 市町村教育委員会」(63.3%)、「G. 郡市校長会・教頭会」(62.5%)、「L. 学校行事」(74.1%)となっている。「中には重要でないものもある」が過半数を占めているものが6つあり、「D. 県教育関係団体」(59.9%)、「E. 市町村」(59.2%)、「H. 郡市教育関係団体」(59.8%)、「I. 地域団体」(66.9%)、「J. 学校・警察連絡協議会」(51.8%)、「K. PTA」(53.0%)となっている。また、「ほとんど重要ではない」が1割を超えているものが「I. 地域団体」(10.6%)である。

図表 2-7-3-4 は、中学校・教頭の結果である。全体的に見て、「ほとんど重要である」とする回答が過半数を占めるものが5つあり、「B. 県教育委員会」(70.5%)、「C. 県校長会・教頭会」(52.6%)、「F. 市町村教育委員会」(67.4%)、「G. 郡市校長会・教頭会」(67.8%)、「L. 学校行事」(69.6%)となっている。「中には重要でないものもある」が過半数を占めているものが5つあり、「D. 県教育関係団体」(60.4%)、「E. 市町村」(55.3%)、「H. 郡市教育関係団体」(60.4%)、「I. 地域団体」(63.9%)、「K. PTA」(50.0%)となっている。「A. 県」「J. 学校・警察連絡協議会」「M. 県中学校体育連盟」「N. 郡市中学校体育連盟」の4つについては、「ほとんど重要である」と「中には重要でないものもある」が拮抗している。

図表 2-7-3-3.主催団体別重要度(小学校・教頭)



図表 2-7-3-4.主催団体別重要度(中学校・教頭)



## 2-7-4.主催団体別の重要度

各団体が主催する会議や出張の内容についておうかがいします。～ についてお答えください。  
ただし、「M. 県中学校体育連盟」「N. 郡市中学校体育連盟」については、中学校の校長・教頭のみ  
お答えください。

会議や出張の回数が多い順に上位3つの主催団体を選び、回答用紙4 - 17の 欄に主催団体の記号「A～N」を記入して、 で回答した重要度などについて意見を自由にお書きください。（自由記述）

各主催団体とも、その重要性を指摘する自由回答意見が最も多くなっているが、同時に内容の精選や合理化・効率化について言及する意見も見られる。

図表 2-7-4-1 は、主催団体別の重要度についての自由回答をまとめたものである。

各主催団体を軸に、小学校・中学校および校長・教頭の結果を合わせて見ていく。

最も自由回答の多かった主催団体は、「F.市町村教育委員会」（605 個）であった。意見としては「方針や動向を理解する」（38.4％）が最も多く、次に「学校経営のために必要」（11.4％）と、重要であるとの意見が多く見られる。ただし、「内容を精選すべき」（7.3％）との意見も見受けられる。

2 番目に自由回答の多かった主催団体は、「G.郡市校長会・教頭会」（569 個）であった。意見としては「他校との情報共有・交流の場」（33.7％）、「方針や動向を理解する」（16.2％）、「資質向上のために有益」（8.8％）と、重要であるとの意見が多く見られる。

3 番目に自由回答が多かった主催団体は、「K.PTA」（359 個）であった。「家庭との協力は重要」（32.6％）という意見が最も多くなっているが、「内容を精選すべき」（11.4％）や「合理化・効率化の視点が必要」（10.9％）と、改善を求める声も聞かれた。

4 番目に自由回答が多かった主催団体は、「I.地域団体」（213 個）であった。「地域との連携は重要」（32.4％）という前向きな意見が最も多くなっているが、「充て職・動員である」（19.7％）、「立场上出席はやむを得ない」（9.9％）といった消極的な意見も見られる。

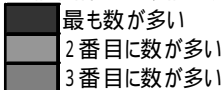
5 番目に自由回答が多かった主催団体は、「L.学校行事」（179 個）であった。「学校経営のために必要である」（36.9％）、「児童生徒のために必要」（29.1％）といった重要であるとの意見が多いが、「合理化・効率化の視点が必要」（9.5％）との意見も見受けられる。

6 番目に自由回答が多かった主催団体は、「H.郡市教育関係団体」（146 個）であった。「資質向上のために有益」（17.8％）が最も多く、続いて「幹事・世話役である」（16.4％）となっている。ただし、「合理化・効率化の視点が必要」（12.3％）との意見も見受けられる。

7 番目に自由回答が多かった主催団体は、「C.県校長会・教頭会」（131 個）であった。「幹事・世話役である」（19.9％）という意見が最も多いが、「内容を精選すべき」（15.3％）や「合理化・効率化の視点が必要」（12.2％）といった改善を求める声も聞かれた。

図表 2-7-4-1. 主催団体別の重要度

出張・会議の種類 (主催団体別)	自由回答の分類 〔内容に関連〕 〔運営に関連〕															合計
	A 県	B 県教育委員会	C 県校長会・教頭会	D 県教育関係団体	E 市町村	F 市町村教育委員会	G 郡市校長会・教頭会	H 郡市教育関係団体	I 地域団体	J 学校・警察連絡協議会	K PTA	L 学校行事	M 県中学校体育連盟	N 郡市中学校体育連盟	O その他	
方針や動向を理解する	3	30	12	4	2	232	92	8			1	4		3	5	396
他校との情報共有・交流の場			6		1	39	192	15						2	5	260
学校経営のために必要である		8	9		2	69	38	1	6	1	28	66		3	2	233
合理化・効率化の視点が必要		3	16	9	5	38	30	18	19	1	39	17	2	5		202
内容を精選すべき	2	4	20	11	1	44	42	12	18		41	4	1	2		202
幹事・世話役である	1		26	15		8	16	24	2	1	22		9	10	3	137
資質向上のために有益		11	5	9		26	50	26	1	1	1			2	1	133
家庭との協力は重要									1		117	4	1	2		125
児童生徒のために必要						3	1	6	6		6	52	6	24		104
立场上出席はやむを得ない	1	5	5		5	24	10	3	21	1	14	8	1	2	3	103
充て職・動員である		2	1	6	12	17	2	8	42		6	1		2	1	100
地域との連携は重要					3	1	1	2	69	1	7	6				90
進行に工夫が必要		2	1		1	20	32	3	3		14	4	1		1	82
集まる必要がない		1	12	2	1	29	16	5			6		1	3		76
時間外・休日に拘束される					2	2		1	11		17	2	3	10		48
主催側の負担が大きい			2	5			2	5	5	2	8					29
これ以上削減できない		2	1	2		10	8	2								25
出席分担の結果である	1		3	3	3	7	2	2	2			1				24
運営が稚拙である			1			1	1		1		18					22
地域ブロックがらみである		1	7	7			3	1								19
校外課題を共有する場						2		3	2	4				1		12
その他		8	4	2		35	29	4	3		10	10		1	2	108
合計	8	77	131	75	38	605	569	146	213	10	359	179	25	72	23	2,530

主催団体ごとに、記述数が多い内容には網掛けをしている  
  
 ■ 最も数が多い  
 ■ 2番目に数が多い  
 ■ 3番目に数が多い

- 注) 1. 便宜上、「出張・会議」の種類を主催団体別にAからOの15カテゴリーに分けた。  
 2. 「出張・会議」の重要度に関する校長、教頭の自由回答を内容別に「方針や動向を理解する」から「その他」の22項目に分類した。  
 3. 分類に当てはまる回答数をカウントし、回答数の合計が多い分類順に上から順に並べ、主催団体別の内訳を示した。  
 4. 一つの自由回答の中に複数の分類に当てはまる内容が含まれる場合は、該当する分類すべてでカウントした。